

## 松山第一小学校科学教室

## 小学生と高校生の交流盛り上がる



12月4日(水)に松山第一小6年生の児童60人を招いて科学教室を実施しました。児童たちは、物理、化学、生物、地学の4分野に分かれてそれぞれ実験に取り組み、理科系部活動の生徒たちがアシスタントとしてサポートに入りました。

生物では、顕微鏡を使ってゾウリムシの食胞での消化の様子やミジンコの観察をしました。化学では、小学校で使わない実験器具を使って水素やアンモニアを発生させて性質を調べました。物理では、液体窒素を使って極低温の世界を体験しました。液体窒素で冷やしたバナナで釘を打ったり、ゴムボールを冷やして割ったり、バラを凍らせてバラバラにしたりしました。地学では、部員がメイン講師となり化石について学び、天然樹脂の化石である琥珀をみがいて琥珀の中に閉じ込められている虫を探しました。

## 群馬大学見学

## 大学見学を通して大いに刺激を受ける

11月14日(木)に2年理数科が群馬大学桐生キャンパスに行き模擬授業を受講し、理工系の高度な研究施設・図書館等の見学をしてきました。大学でどのようなことを学ぶかなどをわかりやすく説明いただいた後の講義では、最先端の現場でどのような研究が行われているか、また、実際に研究室ではどのように研究して、結果を出したのかについてわかりやすく説明していただきました。講義後は、大学の施設内を見学してまわり、高校とは違う高度な研究をするために必要な設備に生徒は興味を刺激されていました。



## 山車ロボットコンテスト2019

## 物理部の5チームが参加

11月24日(日)にウエスタ川越で開催された山車ロボットコンテスト2019に物理部1年生2チームと2年生3チームが参加しました。2年生のチーム「ビートルズ」の藤井くん、大野くん、梅田くんの3人が作ったロボット「Pアイコン」が最優秀芸術賞を、同じく2年生のチーム「バジェットクラブ」の早船くん、三浦くん、新井くんの3人が作った「battlelesstank号」が審査員特別賞(やきとりひびき賞)を受賞しました。



## 国立スポーツ科学センター研修

## アスリートを支える施設を訪問

12月16日(月)に2年生保健委員が松山高校で起きているケガについて調査し、ケガ予防の実践のために研究者から話を聞きに、国立スポーツ科学センターに行ってきました。オリンピック選手などトップアスリートをサポートする研究施設やトレーニング環境を見学し、選手を支えるトレーナーの方から「ケガの予防」についての講義を受けました。スポーツを科学的に分析することで、「競技力を高める」「ケガをしない為の身体づくり」の最先端を学ぶことができました。

